

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社ファーストリテイリング（証券コード:9983）

### 【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
債券格付	AA

### ■格付事由

- (1) カジュアルウェアの企画、製造、販売を一貫して行うユニクロなどを傘下に有する持株会社。売上規模は世界の主なアパレル製造小売企業の中でトップクラスにある。主力のユニクロブランドでは、高品質・手頃な価格でベーシックな商品を提供し、顧客の支持を集めている。また、世界トップ企業とのパートナーシップによる高度なサプライチェーンの構築への取り組みが進んでいる。今後の成長が見込まれるエリアへの店舗展開も行っており、インドやベトナムへの本格展開にも着手した。グループの一体性は強く、当社の格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大が足元の業績に影響を及ぼしている。生産はその大半を占める中国で回復しているが、国内外で臨時休業や営業時間短縮を実施している店舗があり、今後の状況変化に注意を払っていく必要がある。ただし、商品企画・開発から製造、販売における高い競争力に変化はみられず、事態の収束に伴い業績は改善に向かうと JCR では考えている。手元流動性の水準は高く、財務基盤は強固である。中期的に海外における店舗網の拡大が続くとみられるが、良好な財務構成は維持可能と予想される。以上を勘案して、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 国内ユニクロ事業では足元で緊急事態宣言による一部店舗の臨時休業の影響を受けており、今後の店舗営業再開および需要回復状況を注視していく。原価率低減および販管費抑制に向けて在庫水準の適正化を図るとともに、RFID の活用やセルフレジの導入による店舗運営の効率化などに取り組んでおり、今後も成果を上げていくと見込まれる。中期的には E コマース販売の拡大が引き続き重要と考えられる。海外ユニクロ事業でも新型コロナウイルス感染拡大により減収となっている。海外において店舗数最多の中国ではほぼ全ての店舗が営業を再開したが、東南アジアや欧米では臨時休業の店舗が多い。今後、店舗の営業再開状況をフォローしていく必要がある。中期的にはインドやベトナムの収益進捗状況が注目される。
- (4) 20/8 期の事業利益（IFRS）は 1,500 億円（前期比 43.4%減）と 4 期ぶりの減益計画であるが、これは 6 月以降に事業活動が徐々に正常化すると仮定したものである。ただ、現段階において収束までどの程度の期間を要するか見通すことは難しく、今後の国内外における店舗営業の再開状況および業績回復動向を注視していく。20/8 期第 2 四半期末の現金及び現金同等物は 1 兆 1,843 億円と豊富であり、実質無借金状態が維持されている。20/8 期の設備投資は海外およびシステム関連を中心にほぼ前期並みの計画であり、財務面に大きな影響を及ぼすものではないとみられる。なお、IFRS 第 16 号適用により、各種財務指標に変化がみられるものの、当社の経済的実態に変化はなく、格付やその見通しに与える影響は限定的である。

（担当）千種 裕之・大塚 浩芳

### ■格付対象

発行体：株式会社ファーストリテイリング

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

